



「地域医療BCPの展開」

京都iMED研究会シンポジウム

日時 2025 3/1 (土) 午後2時15分—午後5時15分

会場 芝蘭会館稲盛ホール [京都市左京区吉田近衛町 京都大学医学部構内]

近年の大地震では医療施設やライフラインの被害により被災地域の医療体制が大きく損なわれた。2019年度末までに策定された災害拠点病院のBCPは5年間の“しこう”を経て更新時期を迎えており、近年の災害で明らかになった新たな脆弱性を分析し、BCPでの想定や対策の十分性を医学および工学的な視点から評価する必要がある。本シンポジウムでは、能登半島地震で被災対応に当たった病院関係者を基調講演に招いて急性期の対応と復旧に関する知見を学ぶ。次に、京都大学防災研究所と医学部附属病院を中心として取り組んできた病院の事業継続性向上に向けた調査・実験研究、地域医療連携のための情報共有システム、機能復旧に関する手法構築に関する最新の知見を共有し、地域レベルでの医療BCPの在り方を議論する。

主催：京都iMED研究会、京都大学防災研究所 地域医療BCP連携研究分野、京都大学医学部附属病院 初期診療・救急医学分野

共催：京都大学医学研究科附属ヘルスセキュリティセンター 協力：三井住友信託銀行株式会社



「地域医療BCPの展開」

京都iMED研究会シンポジウム

プログラム

1. あいさつ (5分) 大鶴 繁 (京都大学医学研究科 地域医療BCP連携研究分野 教授)

2. 基調講演 (50分) 司会：趙 晃済 (京都医療センター 救命救急部長・救命救急センター長)

「令和6年能登半島地震における災害拠点病院での被害と対応」

喜多大輔 (公立能登総合病院 副院長・救命救急センター長・脳外科部長)



喜多大輔先生

3. 地域医療BCP連携研究分野の取り組み (70分)

司会：庵原美香 (花園大学社会福祉学科 講師)

首都圏レジリエンスP「災害時重要施設の高機能設備性能評価と機能損失判定」

河又洋介 (防災科学技術研究所 主任研究員)

倉田真宏 (京都大学防災研究所 地域医療BCP連携研究分野 准教授)

科研費「工学的・医学的見地から評価する地震被災地域における地域医療のクリフエッジ」

金尾伊織 (京都工芸繊維大学 デザイン・建築学系 教授) 杉山 治 (近畿大学情報学部 准教授)

藤田皓平 (京都大学工学研究科 建築学専攻 准教授) 相田伸二 (京都大学医学部附属病院 技師長)

医療施設の災害調査報告：「2017年大阪北部地震」、「2024年能登半島地震」

牧 紀男 (京都大学防災研究所 地域医療BCP連携研究分野 教授)

森 智治 (京都大学医学部附属病院 初期診療・救急科 特定病院助教)

〔休憩 10分〕

4. 「地域医療BCPの展開」 (パネルディスカッション 50分)

コーディネーター：大鶴 繁 牧 紀男

〈パネリスト〉

今中雄一 (京都大学医学研究科ヘルスセキュリティセンター／社会健康医学系専攻 教授)

岸本和昌 (京都大学医学部附属病院 医療情報企画部 助教)

田中裕子 (熊本市市民病院 看護師)

藤田陽太 (日本バプテスト病院 医務部長・総合内科主任部長・血液内科部長)

倉田真宏

5. 閉会あいさつ (5分) 牧 紀男

